

第128回 岐阜市管内景況調査報告書(平成24年4～6月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成24年4～6月、平成24年7～9月期の見通し(平成24年6月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数98社、回収率 92.45%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成24年4～6月期)の管内中小企業の景況を見ると、資金繰りDIのマイナス幅がやや拡大したが、他すべての項目はマイナス幅が減少し改善した。

来期(平成24年7～9月期)の景況予想は、業況判断DI、経常利益DI、従業員DIのマイナス幅が拡大するが、他すべての項目でマイナス幅が縮小する見通し。

全業種

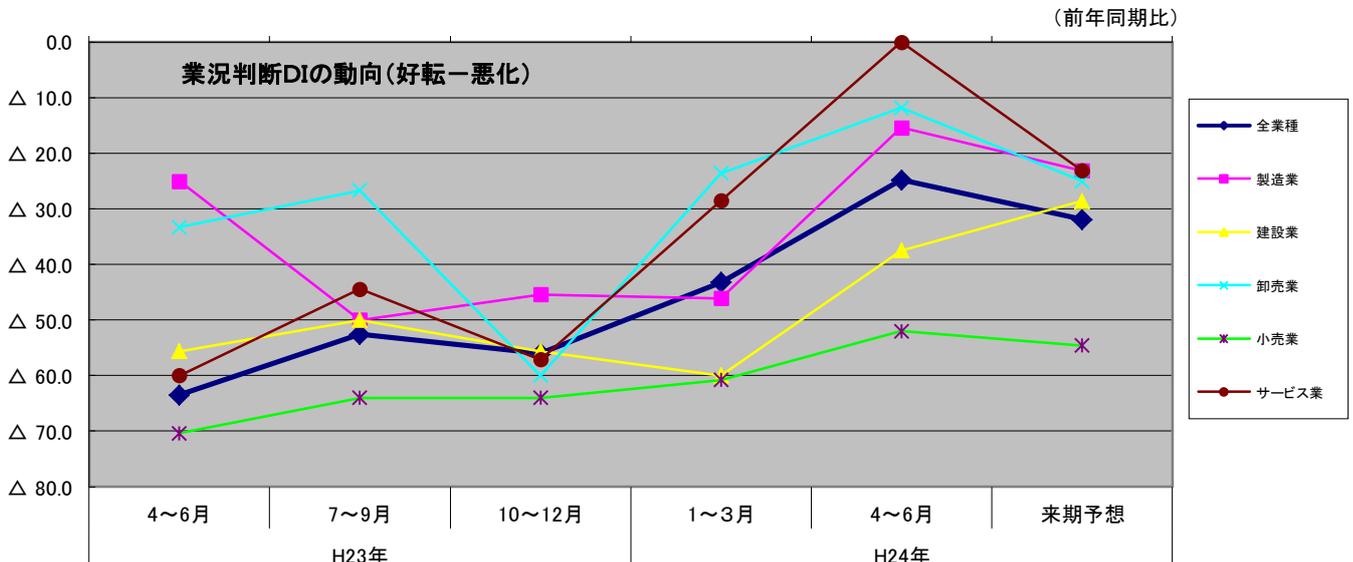
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員	(前年同期比)
23年 4～6実績	△ 63.5	△ 65.9	△ 40.4	△ 64.9	△ 50.0	△ 3.0	
7～9実績	△ 52.6	△ 50.6	△ 33.4	△ 59.3	△ 45.5	△ 1.5	
10～12実績	△ 56.0	△ 46.3	△ 24.0	△ 59.0	△ 40.8	△ 6.3	
24年 1～3実績	△ 43.2	△ 43.5	△ 32.8	△ 53.1	△ 37.9	△ 6.1	
4～6実績	△ 24.8	△ 24.8	△ 25.0	△ 41.8	△ 39.2	△ 3.5	
7～9予想	△ 31.9	△ 24.0	△ 22.0	△ 46.9	△ 34.4	△ 17.6	

1. 業況

全業種のDI値は、△24.8と前期(△43.2)に比べると18.4ポイントマイナス幅が減少した。来期は、今期よりマイナス幅が拡大すると予想される。

業種別でみると、製造業・サービス業で大幅に改善がみられる。来期は建設業で改善が見込まれるが、他業種ではマイナス幅が拡大する見通し。

	業況判断DI(「好転」－「悪化」)			(前年同期比)		
	H23年 4～6月	7～9月	10～12月	H24年 1～3月	4～6月	来期予想
全業種	△ 63.5	△ 52.6	△ 56.0	△ 43.2	△ 24.8	△ 31.9
製造業	△ 25.0	△ 50.0	△ 45.4	△ 46.1	△ 15.4	△ 23.1
建設業	△ 55.6	△ 50.0	△ 55.6	△ 60.0	△ 37.5	△ 28.6
卸売業	△ 33.3	△ 26.7	△ 60.0	△ 23.6	△ 11.8	△ 25.0
小売業	△ 70.4	△ 64.0	△ 64.0	△ 60.8	△ 52.0	△ 54.6
サービス業	△ 60.0	△ 44.4	△ 57.1	△ 28.5	0.0	△ 23.1

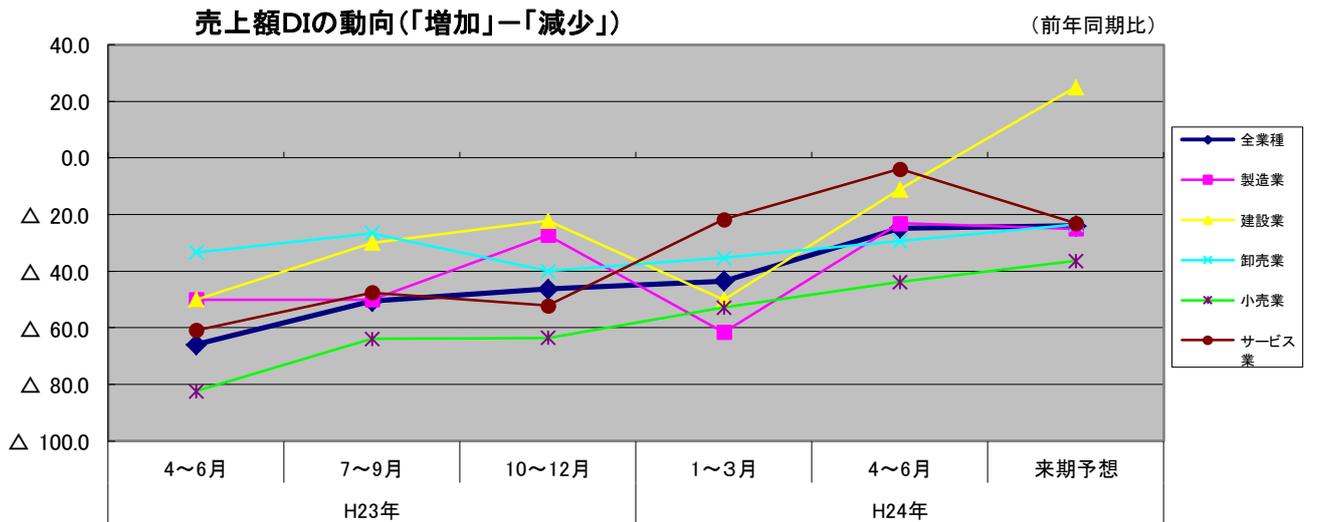


2. 売上(加工)額

全業種の DI 値は、△24.8と前期(△43.5)と18.7ポイントマイナス幅が縮小し改善した。来期も改善する見通し。

業種別では、製造業・建設業で大幅にマイナス幅が縮小し改善がみられるが、来期は製造業・サービス業を除く全ての業種で改善する見通し。

	売上額DI(「増加」-「減少」)			(前年同期比)		
	H23年			H24年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	来期予想
全業種	△ 65.9	△ 50.6	△ 46.3	△ 43.5	△ 24.8	△ 24.0
製造業	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.2	△ 61.5	△ 23.1	△ 25.0
建設業	△ 50.0	△ 30.0	△ 22.2	△ 50.0	△ 11.1	25.0
卸売業	△ 33.3	△ 26.6	△ 40.0	△ 35.3	△ 29.4	△ 23.5
小売業	△ 82.4	△ 63.9	△ 63.6	△ 52.8	△ 43.8	△ 36.4
サービス業	△ 60.9	△ 47.6	△ 52.2	△ 21.7	△ 3.9	△ 23.1

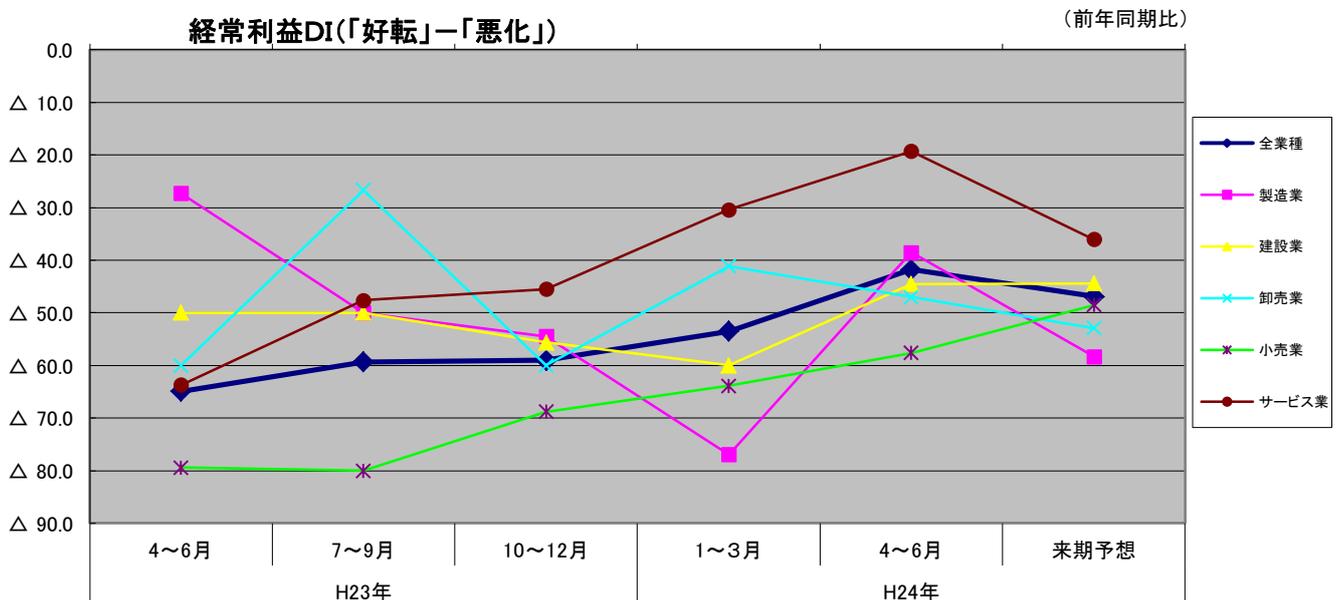


3. 採算(経常利益)

全業種の DI 値は、△41.8と前期(△53.5)に比べ11.7ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、マイナス幅が拡大すると予想される。

業種別では、卸売業でマイナス幅が拡大し悪化した。来期は、製造業・卸売業・サービス業の改善の見込みはなく悪化する見通し。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)			(前年同期比)		
	H23年			H24年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	来期予想
全業種	△ 64.9	△ 59.3	△ 59.0	△ 53.5	△ 41.8	△ 46.9
製造業	△ 27.3	△ 50.0	△ 54.5	△ 76.9	△ 38.5	△ 58.3
建設業	△ 50.0	△ 50.0	△ 55.6	△ 60.0	△ 44.5	△ 44.4
卸売業	△ 60.0	△ 26.7	△ 60.0	△ 41.1	△ 47.0	△ 52.9
小売業	△ 79.4	△ 80.0	△ 68.8	△ 63.9	△ 57.6	△ 48.5
サービス業	△ 63.7	△ 47.6	△ 45.5	△ 30.4	△ 19.3	△ 36.0

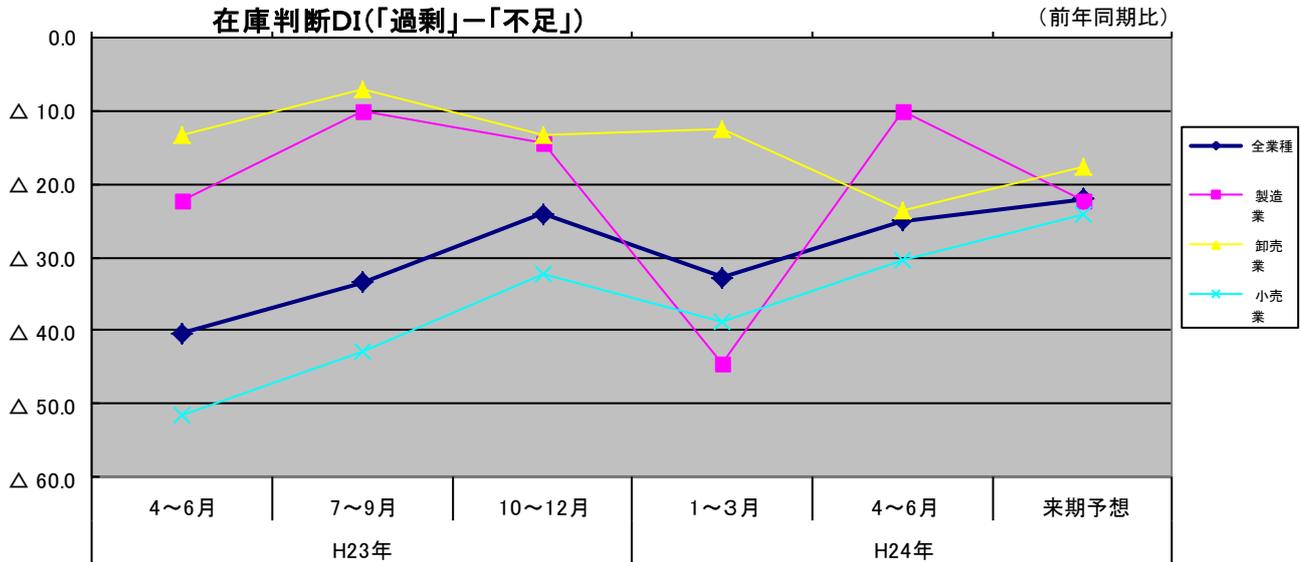


4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△25.0と前期(△32.8)に比べマイナス幅が7.8ポイント縮小した。来期も、今期よりマイナス幅が縮小され改善すると予想される。

業種別では、製造業において大幅な改善をしたが、来期はマイナス幅が拡大する見通し。

	在庫判断DI (「过剩」-「不足」)			(前年同期比)		
	H23年 4~6月	7~9月	10~12月	H24年 1~3月	4~6月	来期予想
全業種	△ 40.4	△ 33.4	△ 24.0	△ 32.8	△ 25.0	△ 22.0
製造業	△ 22.2	△ 10.0	△ 14.3	△ 44.4	△ 10.0	△ 22.2
卸売業	△ 13.4	△ 7.1	△ 13.3	△ 12.5	△ 23.5	△ 17.7
小売業	△ 51.4	△ 42.8	△ 32.3	△ 38.8	△ 30.3	△ 24.2

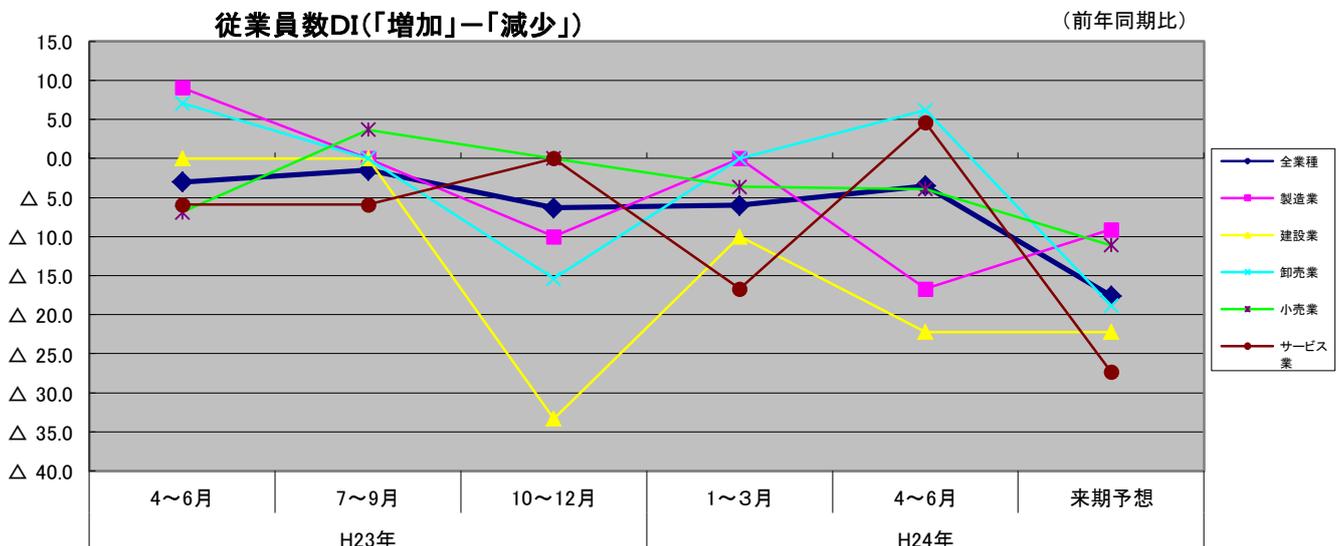


5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△3.5と前期(△6.0)に比べプラス2.5ポイントとなり、減少が縮小した。

業種別では、製造業・建設業で大幅にマイナス幅が拡大した。来期は製造業・建設業を除く全ての業種で悪化する見通し。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)			(前年同期比)		
	H23年 4~6月	7~9月	10~12月	H24年 1~3月	4~6月	来期予想
全業種	△ 3.0	△ 1.5	△ 6.3	△ 6.0	△ 3.5	△ 17.6
製造業	9.1	0.0	△ 10.0	0.0	△ 16.7	△ 9.1
建設業	0.0	0.0	△ 33.3	△ 10.0	△ 22.2	△ 22.2
卸売業	7.1	0.0	△ 15.4	0.0	6.2	△ 18.8
小売業	△ 6.9	3.7	0.0	△ 3.6	△ 3.9	△ 11.1
サービス業	△ 5.9	△ 5.9	0.0	△ 16.7	4.6	△ 27.3

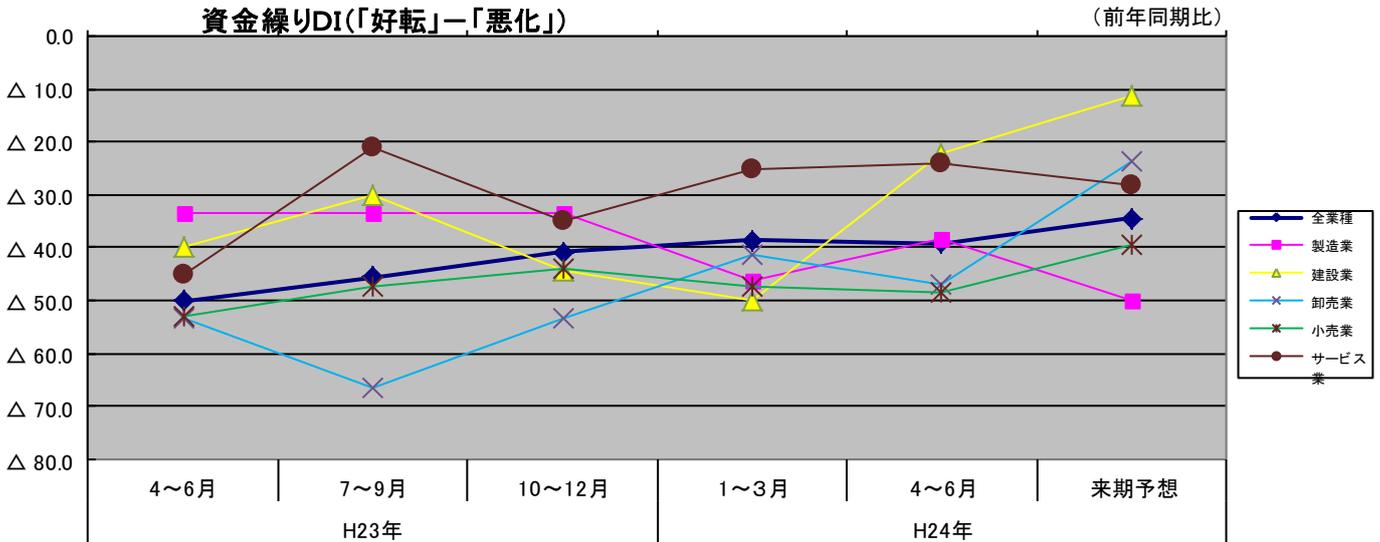


6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△39.2と前期(△38.6)に比べ0.6ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、やや改善する見通し。

業種別では建設業において大幅にマイナス幅が縮小し改善がみられたが、来期も製造業でマイナス幅が拡大し、厳しい状況が続く見通し。

	資金繰りDI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H23年				H24年	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	来期予想
全業種	△ 50.0	△ 45.5	△ 40.8	△ 38.6	△ 39.2	△ 34.4
製造業	△ 33.4	△ 33.3	△ 33.3	△ 46.1	△ 38.5	△ 50.0
建設業	△ 40.0	△ 30.0	△ 44.5	△ 50.0	△ 22.2	△ 11.1
卸売業	△ 53.3	△ 66.7	△ 53.3	△ 41.2	△ 47.1	△ 23.5
小売業	△ 52.9	△ 47.2	△ 44.1	△ 47.2	△ 48.5	△ 39.4
サービス業	△ 45.0	△ 21.0	△ 35.0	△ 25.0	△ 24.0	△ 28.0



7. 経営上の問題点

前回の調査同様、製造業・卸売業・サービス業で「需要の停滞」が上位に問題点として挙げられ依然として厳しい経済情勢が続いていることが浮き彫りになっている。建設業については、上位に請負単価の低下・上昇難があるが、前回よりマイナス幅が減少されており、少しずつ改善が見られる。今後、消費者のニーズに対応し、新規顧客を開拓することが求められる。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	需要の停滞	製品単価の上昇難	新規参入業者の増加	製品ニーズの変化	生産設備の不足老朽化
	30.0 19.4	20.0 25.8	10.0 3.2	6.7 6.5	6.7 6.5
建設業	請負単価の低下・上昇難	民間需要の停滞	新規参入業者の増加	材料価格の上昇	人件費の増加
	16.0 16.7	16.0 26.7	12.0 0.0	8.0 6.7	8.0 0.0
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	大企業進出競争の激化	小売業進出競争の激化	仕入単価の上昇
	23.4 28.9	19.2 17.8	8.5 0.0	8.5 2.2	8.5 15.6
小売業	消費者ニーズの変化	需要の停滞	購買力他地域への流出	販売単価の低下・上昇難	大企業進出競争の激化
	15.7 19.8	15.7 15.4	13.5 16.5	12.4 14.3	9.0 8.8
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	大企業進出競争の激化	利用料金の低下・上昇難	新規参入業者の増加
	28.8 24.5	17.0 22.5	10.2 4.1	10.2 10.2	6.8 8.2